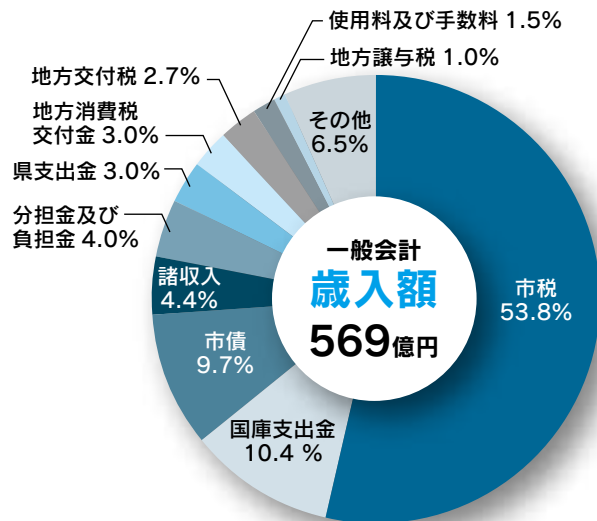
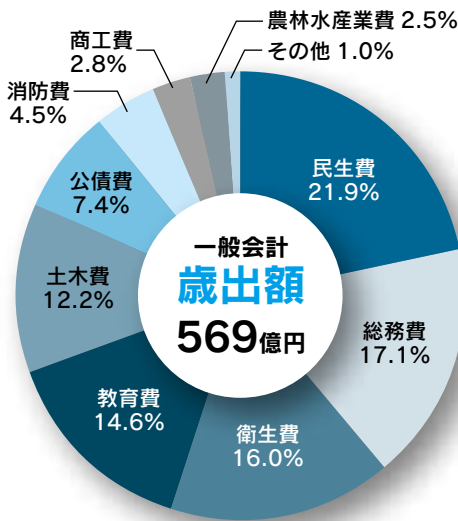


最少の経費で最大の効果を

“生涯を完結できるまちづくり”の 実現に向けて

平成21年度当初予算案が3月定例会市議会で可決されました。一般会計は569億円で、前年度と比較すると24億円(4.4%)の増額。特別会計は8会計合わせて186億7,514万円。水道事業会計は39億6,191万円で、予算総額は795億3,705万円となり、前年度より17億1,760万円(2.2%)増額の積極予算編成となっています。本号では、その概要をお知らせします。



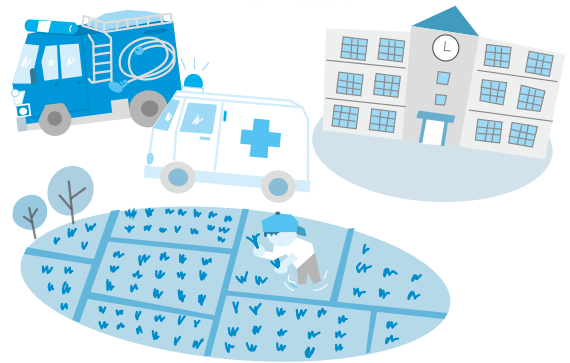
市民1人当たりに使われるお金

454,386円(一般会計)

一般会計当初予算額(569億円)

÷ 平成21年2月末日現在人口(125,224人)

民生費	99,322円	公債費	33,736円
総務費	77,751円	消防費	20,507円
衛生費	72,679円	商工費	12,647円
教育費	66,176円	農林水産業費	11,471円
土木費	55,636円	その他	4,461円



新年度予算概要

わが国の経済は、100年に一度といわれる世界の金融資本市場の危機を契機に世界的な景気後退が見られる中で、外需面に加え内需も停滞し、景気の下降局面にあります。また、雇用情勢が急速に悪化しつつあるとともに、企業の経営状況も厳しいものとなっています。

こうした経済危機の中、市民生活の不安を解消するとともに、地域の実情に応じた適切な対策を講じていく必要があります。

本市の財政状況は、全国でも上位の財政力と健全性を保っていますが、国・県支出金や地方交付税などの依存財源が削減される傾向にある上に、市税など自主財源の増加が見込めない中で、扶助費や公債費をはじめとする義務的経費が引き続き増加傾向にあります。

さらに、成田新高速鉄道関連事業、スポーツ施設や文化施設、新清掃工場などの大規模な公共施設整備事業に加え、少子高齢化対策、生活環境対策、成田空港関連事業などの課題が山積し、今後、多額の財政負担が予想され、将来を楽観視できない状況にあります。

平成21年度予算は、このような状況下においても「生涯を完結できるまちづくり」の実現に向けて、次ページでお知らせする「総合5か年計画2006」に基づき事業を推進するとともに、将来にわたって持続可能な財政構造を構築するため、一層の経費削減にも努め、市民ニーズを的確に反映した効率的で効果的な予算を編成しました。

会計別予算の内訳

特別会計 186億7,514万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計をいいます。本市では、次の8会計を設けています。

- 国民健康保険 109億 946万円
(事業勘定) (107億6,698万円)
被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際し、必要な保険給付を行います。
(施設勘定) (1億4,248万円)
国保大栄診療所での医療サービス向上を図るため、被保険者などに対し診療を行います。
- 下水道事業 21億9,508万円
都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ります。
- 公設地方卸売市場 2億4,305万円
青果物、水産物、生鮮食料品などを安定した価格で供給し、市民生活の向上を図ります。
- 老人保健 3,129万円
平成20年3月までの老人医療加入者の医療給付の精算業務を行います。
- 介護保険 41億4,468万円
被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
- 農業集落排水事業 1億7,128万円
下総・大栄地区の農業集落に排水施設を整備し、生活環境の改善を図ります。
- 後期高齢者医療 6億5,808万円
後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や保険証の引き渡しなどを行います。
- 簡易水道事業 3億2,222万円
下総・大栄地区に給水する小規模な水道事業です。

企業(水道事業)会計 39億6,191万円

企業会計として「水道事業会計」があります。

水道事業収益(収益的収入)	18億4,977万円
水道事業支出(収益的支出)	17億8,988万円
資本的収入	15億1,180万円
資本的支出	21億7,203万円

歳出では、民生費が前年度比1億3,749万円減の124億3,753万円(21・9%)でトップです。主なものは児童ホーム管理運営・整備事業、乳幼児医療費助成事業、小学生医療費助成事業、福祉手当・見舞金支給事業などに充てられます。

2番目は総務費で前年度比4億8,416万円減の97億3,627万円(17・1%)となり、成田新高速鉄道アクセス事業、コミュニケーションバス運行事業、駅前番所事業、成田空港周辺環境整備推進事業などに充てられます。

3番目は衛生費で前年度比18億2,283万円増の91億110万円(16・0%)となり、新清掃工場整備事業、いずみ聖地公園拡張整備事業、新型インフルエンザ対策事業、母子保健事業などに充てられます。

一般会計 569億円

一般会計とは市の基本的な行政を行うための会計です。くわしくは6～7ページをご覧ください。

歳入

市税 306億3,757万円

市税の内訳

固定資産税	181億5,955万円
個人市民税	77億1,566万円
法人市民税	33億1,469万円
市たばこ税	10億5,993万円
都市計画税	1億9,917万円
その他市税(軽自動車税など)	1億8,857万円

国庫支出金	59億7,204万円
市債	55億7,520万円
諸収入	24億9,855万円
分担金及び負担金	22億6,206万円
県支出金	16億8,727万円
地方消費税交付金	17億 円
地方交付税	15億1,500万円
使用料及び手数料	8億4,700万円
地方譲与税	5億8,000万円
その他	36億2,531万円

歳出

民生費	124億3,753万円
総務費	97億3,627万円
衛生費	91億 110万円
教育費	82億8,679万円
土木費	69億6,694万円
公債費	42億2,452万円
消防費	25億6,802万円
商工費	15億8,375万円
農林水産業費	14億3,642万円
その他	5億5,866万円

〔歳入〕

一般会計の歳入は、市民税、市たばこ税などの減収により市税(全体の53・8%)が306億3,757万円となり、前年度と比較すると4億9,032万円の減収となっています。

また、国庫支出金(全体の10・4%)が、59億7,204万円で、前年度と比較すると1億6,105万円の減額。市債(全体の9・7%)が、55億7,520万円で、新清掃工場整備事業や(仮称)大栄野球場整備事業などにより前年度と比較すると9億8,040万円の増額となっています。

〔歳出〕

歳出では、民生費が前年度比1億3,749万円減の124億3,753万円(21・9%)でトップです。主なものは児童ホーム管理運営・整備事業、乳幼児医療費助成事業、小学生医療費助成事業、福祉手当・見舞金支給事業などに充てられます。

2番目は総務費で前年度比4億8,416万円減の97億3,627万円(17・1%)となり、成田新高速鉄道アクセス事業、コミュニケーションバス運行事業、駅前番所事業、成田空港周辺環境整備推進事業などに充てられます。

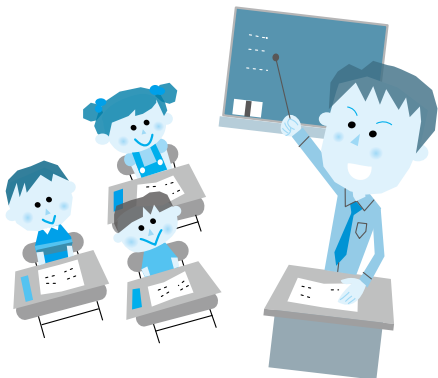
3番目は衛生費で前年度比18億2,283万円増の91億110万円(16・0%)となり、新清掃工場整備事業、いずみ聖地公園拡張整備事業、新型インフルエンザ対策事業、母子保健事業などに充てられます。

主な事業について紹介します

- 食育推進事業……………529万円
健全な心身を培い豊かな人間性を育むため、食育推進計画を策定します。
- AED設置事業……………1,416万円
小学校や保育園などにAED(自動体外式除細動器)を整備します。
- 新型インフルエンザ対策事業……………1,127万円
予防や対処法のパンフレットの配布、感染防護衣などの整備を行います。
- 乳幼児医療費助成事業……………2億3,871万円
- 小学生医療費助成事業……………7,498万円

④市民が地域文化を愛し、次代を担う心豊かな人材を育む

- 放課後子ども教室推進事業……………356万円
地域の協力を得て子どもたちの勉強や交流活動などの取り組みを推進します。
- 学校問題解決支援事業……………93万円
児童・生徒をめぐる長期化、複雑化する問題の解決に向けて支援します。
- 西中学校分離新設校建設事業……………2,760万円
公津の杜地区の生徒数増加などに伴う分離新設校の基本設計などを行います。
- 中学校普通教室エアコン整備事業……………2億6,670万円
学習効率・学習意欲の向上のため、中学校普通教室にエアコンを設置します。
- 学校給食センター施設整備事業……………525万円
本所・玉造分所の老朽化が著しいため、施設整備に向けて基本計画を策定します。
- 国民体育大会開催事業……………7,286万円
第65回国民体育大会の柔道・ソフトボール・ゴルフ競技のリハーサル大会などを行います。
- 英語科研究開発事業……………1億5,503万円
- 個性を生かす教育推進事業……………1億4,972万円
- 小学校校舎耐震補強事業……………5,110万円
- 小学校屋内運動場耐震補強事業……………1億2,260万円
- 小学校大規模改造事業……………7,540万円
- 中学校校舎耐震補強事業……………9,220万円
- 中学校大規模改造事業……………4億8,716万円
- 公民館大規模改修事業……………4,860万円
- スポーツ広場等整備事業……………1億5,972万円
- (仮称)大栄野球場整備事業……………11億8,700万円



⑤市民が安全、安心、快適に暮らせる生活環境をつくる

- 防災行政無線固定系更新事業……………2億2,824万円
防災行政無線の統合とデジタル方式への更新を行います。
- 住宅耐震改修補助事業……………620万円
建築物の耐震化を促進するため、木造住宅の耐震改修に補助します。
- 移動駅前番所事業……………1,474万円
犯罪を未然に防止するため、駅前番所機能を持った青色回転灯パトロール車による駐留と巡回を行います。
- スズメバチ駆除対策事業……………158万円
市民生活の安全を確保するため、スズメバチの駆除処理に対して助成します。
- 新清掃工場整備事業……………40億6,698万円
新たなごみ焼却施設を整備するため、用地造成工事などに着手します。
- 新清掃工場関連付帯施設整備事業……………5,566万円
- 準用河川整備事業……………7,304万円
- 消防車両・装備強化整備事業……………6,712万円
- 航空機騒音地域補助事業……………9,612万円
- 民家防音家屋等維持管理費補助事業……………3億1,112万円
- (仮称)久住パークゴルフ場整備事業……………3億3,838万円
- いずみ聖地公園拡張整備事業……………2億2,084万円



拡張整備が進む「いずみ聖地公園」

- 生活道路整備事業……………10億2,065万円
- 市営住宅建替事業……………1億6,831万円

⑥市民と行政が協働する効率的な自治体運営を行う

- 女性のための相談事業……………54万円
女性のための相談窓口を月2回開設します。
- マルチペイメントネットワーク導入事業……………798万円
インターネットやATMなどで税金や各種料金の支払いができるネットワークシステム導入のための準備を行います。
- 公津の杜複合施設整備事業……………2,411万円
- まちづくり推進調査事業……………1,000万円
- 庁舎改修事業……………2億6,740万円

※くわしくは財政課(☎20-1512)へ。

①世界との交流拠点として 市民が誇れる都市をつくる

成田新高速鉄道アクセス事業…………… 20億2,279万円
平成22年度の開業に向けて用地購入や鉄道建設経費に対し補助します。



建設が進む「成田新高速鉄道」

湯川線整備事業……………5億2,092万円
成田新高速鉄道の新駅へのアクセス道路と駅前広場の整備を行います。

(仮称)土屋駅整備事業…………… 1,000万円
駅設置に向けた協議を進めるため、駅需要の予測調査を行います。

FM放送番組制作事業…………… 525万円
FMラジオ放送を利用して市の情報を発信します。

空港立地を活かした周辺地域調査事業…………… 1,000万円
空港立地を活かした新たな土地利用のあり方などの調査研究を行います。

住区基幹公園整備事業…………… 6,402万円
三里塚記念公園の貴賓館・防空壕の一般公開に向けた実施設計、赤坂地区公園のバリアフリー化工事などを行います。

表参道整備事業……………3億5,725万円
建物のセットバックにより歩行者空間を確保するなど、表参道にふさわしい街並みの景観形成を図ります。

都市計画策定事業…………… 840万円

コミュニティバス運行事業……………1億2,538万円

幹線道路整備事業……………7億8,000万円

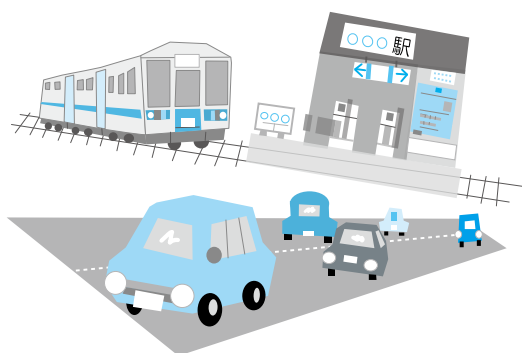
JR・京成成田駅中央口地区整備事業…………… 8,023万円

赤坂台方線整備事業……………2億3,818万円

大袋線整備事業…………… 2,747万円

ニュータウン中央線整備事業…………… 2億8,000万円

鉄道駅バリアフリー化推進事業…………… 8,656万円



②市民がいきいき働く 活力ある産業を育てる

観光館改修事業…………… 6,326万円
施設の老朽化により、利便性向上のための改修工事を行います。

花の回廊整備事業…………… 300万円
桜を中心とした花の回廊を整備するための基本計画を策定します。

観光キャラクター制作事業…………… 1,000万円
観光PRなどのため、成田市をイメージさせる観光キャラクターを作成します。

山車まつり補助事業…………… 915万円
市制施行55周年を祝って行われる山車まつりに補助を行います。

雇用促進事業…………… 76万円
雇用機会の拡大・推進のため、インターネットでの情報提供を行います。

中小企業資金融資事業…………… 10億4,859万円

(仮称)下総親水広場整備事業…………… 1,401万円

農道整備事業……………1億2,000万円

排水路整備事業……………2億550万円

水田農業構造改革対策事業…………… 8,626万円

園芸用廃プラスチック処理対策推進事業…………… 823万円

さくらの山整備事業…………… 1,290万円
観光名所として、さくらの山の基盤整備を行います。



航空機の離発着を一望できる「さくらの山」

③市民一人ひとりの健康で生きがい を持った生活をささえる

妊婦健康診査事業…………… 9,991万円
妊婦健康診査の公費負担を14回に拡充します。

児童ホーム管理運営・整備事業…………… 7,244万円
神宮寺小学校と旧豊住中学校に児童ホームを新設するとともに、加良部児童ホームの増設を行います。

保育園運営事業…………… 984万円
長沼・松崎・赤荻保育園の開園時間延長などを行います。

精神障がい者福祉タクシー助成事業…………… 133万円
重度の精神障がい者がタクシーを利用した場合、料金の一部を助成します。

成人歯科検診事業…………… 210万円
歯周疾患の予防や早期発見をするため、検診対象者を40歳以上に拡充します。